

# 産業別四半期見通し調査結果 (2022年4～6月期見通し)

## ■長野県産業天気図

### ◇2022年1～3月期の現況

- 全12業種中、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が3業種、「小雨(低調)」が6業種となった。

### ◇2022年4～6月期の見通し

- 見通しは、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が3業種、「小雨(低調)」が5業種となった。方向感では、「上昇」が1業種、「やや上昇」が1業種、「横ばい」が8業種、「やや下降」が2業種となっている。

天気図記号	2021年 10～12月期現況	2022年 1～3月期現況	2022年 4～6月期見通し
 晴れ(好調)	2 業種	2 業種	2 業種
 薄日(順調)	2 業種	1 業種	2 業種
 曇り(普通)	2 業種	3 業種	3 業種
 小雨(低調)	6 業種	6 業種	5 業種
 雨(不調)	0 業種	0 業種	0 業種

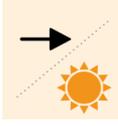
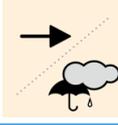
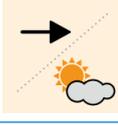
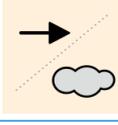
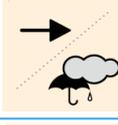
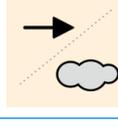
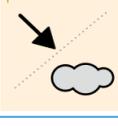
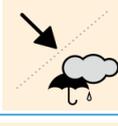
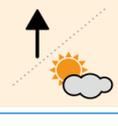
## ■4～6月期見通しのポイント

- 製造業では、天気マークに変化はない見通し。非製造業では、観光が「小雨(低調)」から「薄日(順調)」になる見通し。



## <産業別天気図一覧(12業種)>

- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2022年3月中旬～4月中旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の112社

業種	前期 (21年10～12月期)	今期 (22年1～3月期)	来期 (22年4～6月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			

生産用機械	受注は国内外とも高水準が続く
<p>● 現況</p> 	<p>工作機械や半導体製造装置などの生産用機械の受注は、国内向けはIT関連を中心に順調となり、海外向けはIT関連や自動車関連で好調だった。今後も国内外ともに受注は高水準が続く見込み。ただ、リニアガイドやボールネジなどの生産用機械に用いられる基幹部品や半導体などの部品不足から、納期の長期化は続く見通し。また、金属材料を中心に原材料価格が上昇しており、一部製品では価格転嫁を行う見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>工作機械</b>の受注は、国内では、半導体を中心としたIT関連が順調、自動車関連が堅調な見込み。東アジア、北米など海外は、IT関連や電気自動車向けを中心に好調が続く。</li> <li>● <b>半導体製造装置</b>の受注は、旺盛な半導体需要に伴う設備投資から好調な見通し。</li> </ul>

電子部品・デバイス	半導体等の製造装置向けの受注が好調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>電子部品の受注は、スマートフォン向けが5G対応製品を中心に順調だった。車載向けは、完成車メーカーの一時的な操業停止などから受注はやや減少した。半導体等の製造装置向けの電子制御部品は、旺盛な半導体需要を背景に好調だった。一部で銅・アルミ・樹脂などの原材料不足が生産面に影響した。今後も幅広い分野で受注は好調が見込まれるが、ロシアのウクライナ侵攻により、エネルギー・原材料価格が上昇しており収益圧迫が懸念される。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>スマートフォン向け</b>は、5G対応製品が底堅いことから部品受注は順調な見込み。</li> <li>● <b>車載向け</b>は、完成車メーカーの生産が滞る懸念があるが、部品受注は高水準を維持する見通し。<b>各種製造装置向けの電子制御部品</b>は、半導体需要の増加から好調の見込み。</li> </ul>

自動車部品	半導体不足の影響により受注は低調
<p>● 現況</p> 	<p>半導体不足や新型コロナの感染拡大により完成車メーカーの一部が操業停止し、受注は低調だった。今後は、新車需要は引き続き旺盛なものの、半導体不足などによる完成車メーカーの生産滞りにより、受注は低水準で推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>国内向け</b>は、スポーツ用多目的車(SUV)を中心に新車の需要は強いものの、半導体不足による完成車メーカーの生産滞りが懸念され、受注は低調を見込む。</li> <li>● <b>北米や中国向け</b>では、部品不足の影響が続く受注は低水準を見込む。<b>東南アジア向け</b>では、各国政府による行動制限が緩和されることから完成車需要の回復が見込まれ、受注は持ち直していく見通し。</li> </ul>

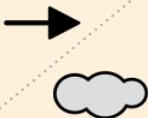
飲料製造	清涼飲料水の需要はやや持ち直す見通し
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用の需要は底堅かったが、まん延防止等重点措置の影響で、宿泊施設や飲食店向けの需要は低調だった。今後は、大型連休に加え善光寺御開帳などの大型イベントから観光客の増加も見込まれ、清涼飲料水の需要はやや持ち直す見通し。また、大豆、小麦などの原材料や資材、燃料の価格が上昇しており、価格転嫁を進める見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>果汁飲料やその他の清涼飲料水</b>は、大型連休もあり、観光など人の移動が増えることから需要はやや持ち直すと思われる。</li> <li>● <b>アルコール飲料</b>は、善光寺御開帳開催による需要増加が期待されるが、新型コロナ感染防止への対応が維持されるため、宿泊施設や飲食店向けの需要は低調となる見通し。</li> </ul>

食料品製造	宿泊施設や飲食店向けの業務用需要は低調
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用は内食需要が続き、即席味噌汁やスープ等が堅調だった。一方、宿泊施設や飲食店向けの業務用需要は落ち込み、全体では低調だった。また、原材料価格の上昇や円安の進展による仕入価格の上昇分について、一部の製品への価格転嫁を進めた。新型コロナの収束は難しいとみられ、家庭用は堅調だが、業務用需要は低調な見通し。また、ロシア・ウクライナ問題の影響により原材料価格のさらなる上昇が見込まれる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>味噌やスープ</b>では、即席味噌汁やフリーズドライのたまごスープなど調理が簡便な家庭用を中心に堅調が見込まれる。<b>加工肉</b>は無添加製品を中心に家庭用が底堅い見通し。</li> <li>● <b>油揚げ</b>は麺類の具材等で業務用がやや持ち直すが、コロナ前の水準には戻らない見込み。</li> </ul>

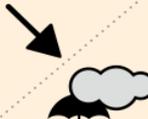
機械器具卸	機械需要は順調だが、一部機械の製品不足も続く
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、半導体関連が増加したほか自動車関連が堅調で総じて順調だった。ただ、工作機械やFA機器など一部の機種では、部品調達難に伴う製品不足により納期が長期化した。今後も機械需要は順調な見通しだが、機械の製品不足により納期の遅れが続く見通し。また、仕入価格の上昇が見込まれ、価格転嫁を進める見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>工作機械</b>などの機械需要は、半導体製造装置向け、自動車向けなどを中心に設備投資が見込まれており順調な見通し。<b>制御機器</b>や<b>産業用ロボット</b>などの<b>FA機器</b>の需要も、省力化・自動化ニーズから底堅い見込み。</li> <li>● <b>切削用工具類</b>や<b>金属板</b>などの<b>消耗品</b>受注は、自動車関連の生産滞りから弱含む見通し。</li> </ul>

大型小売	内食需要を中心に、食料品は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>食料品は、感染防止に伴う外食控えから内食需要が底堅く、生鮮食品を中心に売り上げが増加した。一方、衣料品はまん延防止等重点措置などで客数が減少し低調だった。今後も、内食需要を中心に食料品は堅調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>百貨店</b>は、善光寺御開帳などの大型イベント開催で集客効果が期待されるものの、コロナ禍における慎重な買い物姿勢は変わらず、売り上げへの寄与は限定的な見通し。</li> <li>● <b>スーパー</b>は、感染防止に配慮したまとめ買いが続くほか、内食需要も底堅く、食料品は堅調に推移する見通し。ただ、仕入価格が上昇する中、消費者の低価格志向や競合店間の価格競争により、価格転嫁は一部にとどまり収益環境は厳しい見通し。</li> </ul>

自動車販売	納車遅れが続き、新車販売は低水準にとどまる
<p>● 現況</p> 	<p>消費者の需要は底堅く、受注は堅調だった。ただ、半導体不足の長期化から納車遅れが続き、販売台数は前年を下回った。今後も、納車遅れが継続する見込みであり、新車販売は低水準にとどまる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新車販売</b>は、人気のスポーツ用多目的車(SUV)や環境性能の高いハイブリッド自動車(HV)を中心に堅調な需要を見込む。ただ、半導体の不足による納車遅れは続く見通し。</li> <li>● <b>中古車販売</b>は、新車の納車遅れに伴う下取り車の減少により、低調な見込み。</li> <li>● <b>輸入車販売</b>は、高価格帯の車種を中心に需要は底堅いものの、納車遅れにより例年を下回る見通し。</li> </ul>

公共工事	国土強靱化計画に伴う土木工事など安定した工事量が見込まれる
<p>● 現況</p> 	<p>大型の災害復旧工事が一段落する中、三遠南信自動車道の関連工事などにより例年並みの工事量を確保した。今後は国土強靱化計画に伴う土木工事に加え、リニア中央新幹線の関連工事や高速道路の補修工事などが引き続き見込まれ、安定した工事量となる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国では、河川の補強等を中心とした防災・減災工事の継続、道路の維持・補修工事などが見込まれ、工事量は堅調な見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県では、橋梁補修工事や災害復旧工事などにより、例年並みの工事量を見込む。</li> <li>● 市町村では、道路整備や小規模な災害復旧工事などが見込まれ、工事量は例年並みの見通し。</li> </ul>

民間工事	資材の不足や価格の上昇による需要の低下が懸念される
<p>● 現況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、製造業の工場などの建築を中心に工事量は例年並みだった。一方、新築住宅は前年を下回った。製造業を中心に建設投資の動きはあるものの、業界全体では、ロシア・ウクライナ問題の影響に伴う資材の不足や価格の上昇などによる工事内容の見直しや先送りが懸念される。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業の建設投資は、製造業で工場の新増設の動きが見込まれるが、建築資材の価格が上昇しており、投資計画の見直しが予想される。</li> <li>● 住宅関連は、木材不足が続いていることに加え、資材価格の上昇や納期の長期化により消費者マインドの低下が懸念され、着工戸数は伸び悩む見通し。</li> </ul>

貨物	貨物量は低調、燃料価格等の上昇で厳しい収益状況が続く
<p>● 現況</p> 	<p>自動車部品などの工業製品は資材の不足等を背景に生産に遅れが生じ、貨物量は低調だった。食品関連や雑貨類の貨物量は、業務用が弱い動きとなった。今後、自動車部品の生産は低調な状況が続くとみられ、貨物量は例年水準を下回る見通し。さらに、燃料価格等の上昇に対して価格転嫁の動きは弱く、厳しい収益状況が続く見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産用機械や電子部品は、ロシア・ウクライナ問題を背景に貨物量の減少が懸念される。自動車部品は、半導体不足の影響もあり低調な荷動きとなる見通し。</li> <li>● 食品関連や雑貨・消耗品類の貨物量は、家庭用は安定した動きが継続するとみられる。業務用は観光関連需要の増加が期待されるが、総じて例年水準には至らない見込み。</li> </ul>

観光	大型イベントの開催で観光客数は増加する見込み
<p>● 現況</p> 	<p>降雪に恵まれたためスキー場の利用者数は前年より増加したものの、全国的にまん延防止等重点措置が適用されたため、例年に比べ観光客数は低調であった。4月以降は善光寺御開帳や諏訪地域の御柱祭などの大型イベント開催に加え、県の観光需要喚起策の対象拡大や5月の連休の日並びの良さもあり、観光客数は増加する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅客は、新型コロナの感染状況に左右されるものの、大型イベント開催による観光客の周遊が見込まれるため観光利用が持ち直すとみられる。</li> <li>● 宿泊施設は、信州割SPECIAL宿泊割の対象が拡大し、隣接県民にも適用されることに加え、大型イベントの開催による観光客の周遊が見込まれ、利用客数が増加する見通し。</li> </ul>